証券コード：4635

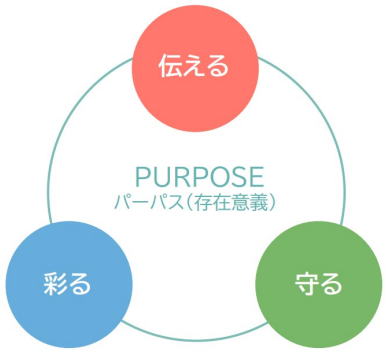
東証スタンダード市場

TOKYO ink

東京インキ株式会社

2027年3月期 第2四半期（中間期）
決算補足説明資料

（2026年11月6日決算発表）



「伝える」
「彩る」
「守る」ことで、
豊かな未来を実現する

目次

サマリー

１．2027年3月期　第2四半期（中間期）決算概況

２．2027年3月期　通期連結業績予想の修正

３．2027年3月期　株主還元

４．参考資料

Copyright© TOKYO PRINTING INK MFG. CO., LTD.

サマリー

（単位：百万円）

27年3月期 第2四半期（中間期）決算概況：
・適正な販売価格の確保と高収益製品の伸長に加え、原材料価格上昇による売上原価への影響が想定より限定的となったため、前年同期比、業績予想比(※1)ともに増収増益

		25/9	26/9		前年同期比		業績予想比※1	
		実績（A）	業績予想※1（B）	実績（C）	増減額（C）-（A）	増減率	増減額（C）-（B）	増減率
連結	売上高	24,336	26,500	26,796	＋2,459	＋10.1%	＋296	＋1.1%
	営業利益	1,096	1,300	1,760	+664	＋60.6%	＋460	＋35.4%

（※1）26年8月5日公表値

27年3月期 通期業績予想：
・原材料価格上昇や需要前倒しの反動等による影響を織り込む一方、高付加価値製品の販売拡大による収益改善を見込み上方修正

27年3月期　通期業績予想		期初予想※1	前回修正予想※2（A）	今回修正予想※3（B）	増減額（B）-（A）
連結	売上高	48,900	54,300	54,500	＋200
	営業利益	1,800	2,700	3,650	＋950

（※1）26年5月13日公表値
（※2）26年8月5日公表値
（※3）26年11月6日公表値

27年3月期 株主還元：通期業績予想の上方修正を反映した増配、自己株式取得による積極的な株主還元策を実施

■配当予想：26年8月5日公表の配当予想から増配、年間配当金予想115円（前回予想比＋20円、 前期比＋52円）
■自己株式取得：総額12億円の取得を継続中（26年10月末時点の取得額4.8億円）

Copyright© TOKYO PRINTING INK MFG. CO., LTD.

サマリー

（単位：百万円）

上期は販売伸長や高付加価値製品の拡大等により収益性が想定を上回って推移
下期の原材料価格上昇、販売価格の見直し、需要前倒しの反動等を織り込みつつ、通期業績予想を上方修正
構造改革による影響は業績予想に織り込み、高収益体質への転換に向けた取り組みを継続

27年3月期第２四半期（中間期）業績予想※１との差異要因

一時的要因：加工品事業における一部製品の前倒し需要発生
　　原材料価格上昇による売上原価への影響が想定より限定的
継続的要因：各事業における販売伸長
　　高付加価値製品の販売拡大による収益性の向上

（※１）26年8月5日公表値

下期の見通し

プラス要因：　高付加価値製品の販売拡大や製品ポートフォリオの最適化
マイナス要因：原材料価格の上昇や市況変化に伴う一部製品の販売価格の見直し、需要の前倒しによる反動

27年3月期の構造改革

・化成品低収益受託製品の整理断行
・高付加価値製品へのシフト
・生産体制再構築
・設備メンテナンス強化
・人的資本投資

⇒構造改革による高収益体質への転換方針は不変

Copyright© TOKYO PRINTING INK MFG. CO., LTD.

1．2027年3月期　第2四半期（中間期）決算概況



TOKYO ink

（1）エグゼクティブサマリー

（単位：百万円）

**・適正な製品販売価格改定および高付加価値製品へのシフトの効果が顕在化し、
売上高267億円（前年同期比＋10.1%）で増収
・営業利益17.6億円（同＋60.6%）、中間純利益15.7億円（同＋100.0%）と増益**

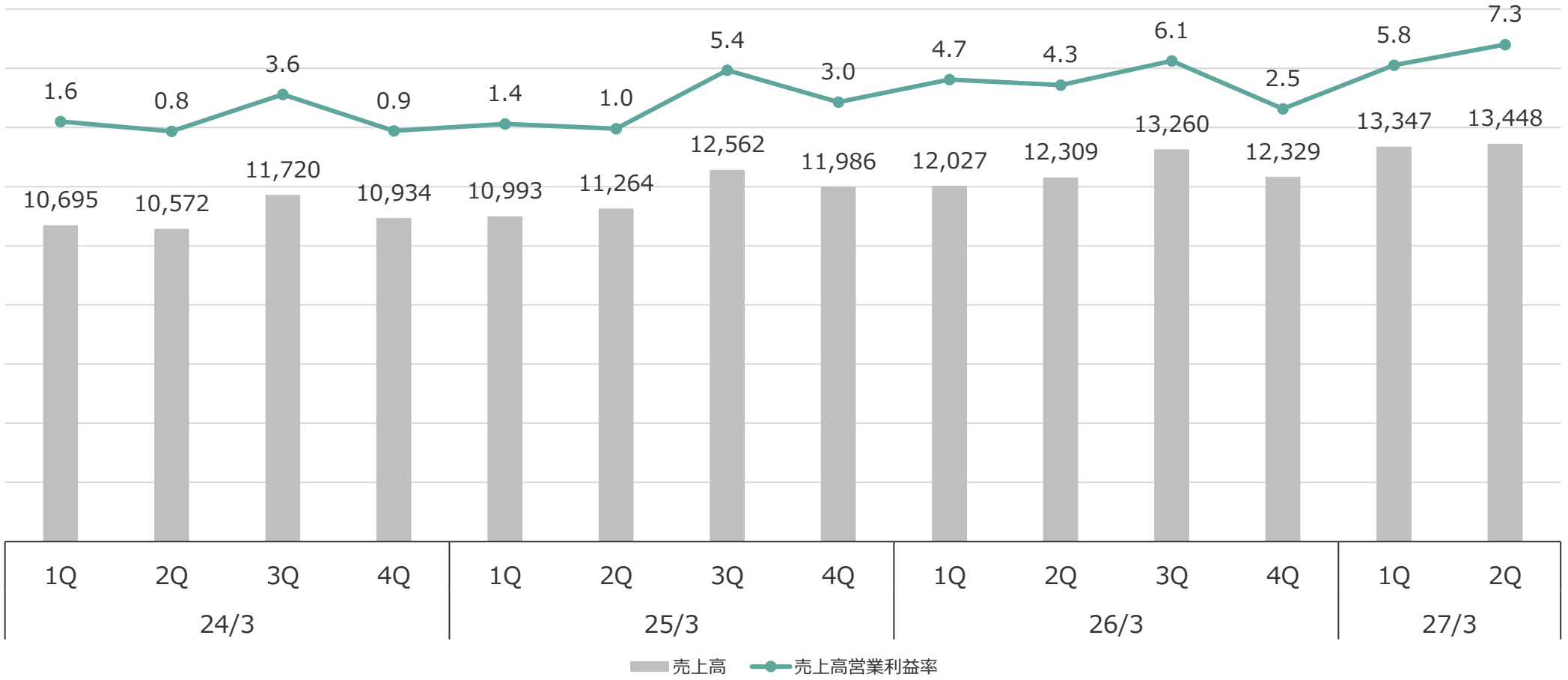
	25/9	26/9	増減額	増減率（%）	コメント
売上高	24,336	26,796	+2,459	+10.1	・各事業の製品販売価格改定の進捗 ・製品ポートフォリオ見直しに伴う高付加価値製品へのシフト ⇒前年同期比増収増益
営業利益	1,096	1,760	+664	+60.6	
経常利益	1,203	1,856	+652	+54.2	保有株式の増配に伴う受取配当金増加、為替差益の影響により、前年同期比増益
親会社株主に帰属する中間純利益	785	1,570	+785	**+100.0**	第1四半期おける確定給付企業年金制度の一部を企業型確定拠出年金制度への移行に伴う退職給付制度改定益（特別利益）計上により、前年同期比増益

Copyright© TOKYO PRINTING INK MFG. CO., LTD.

（2）四半期業績推移

（単位：百万円、%）

・当期は第１・２四半期の売上高、営業利益率が例年を上回る好調な推移
・年末に向けた広告・折込チラシ需要増加や日用品向け機能性包材用途製品の出荷増によって
　第3四半期に売上高や利益が相対的に高水準となる傾向は、当期も同様の見通し

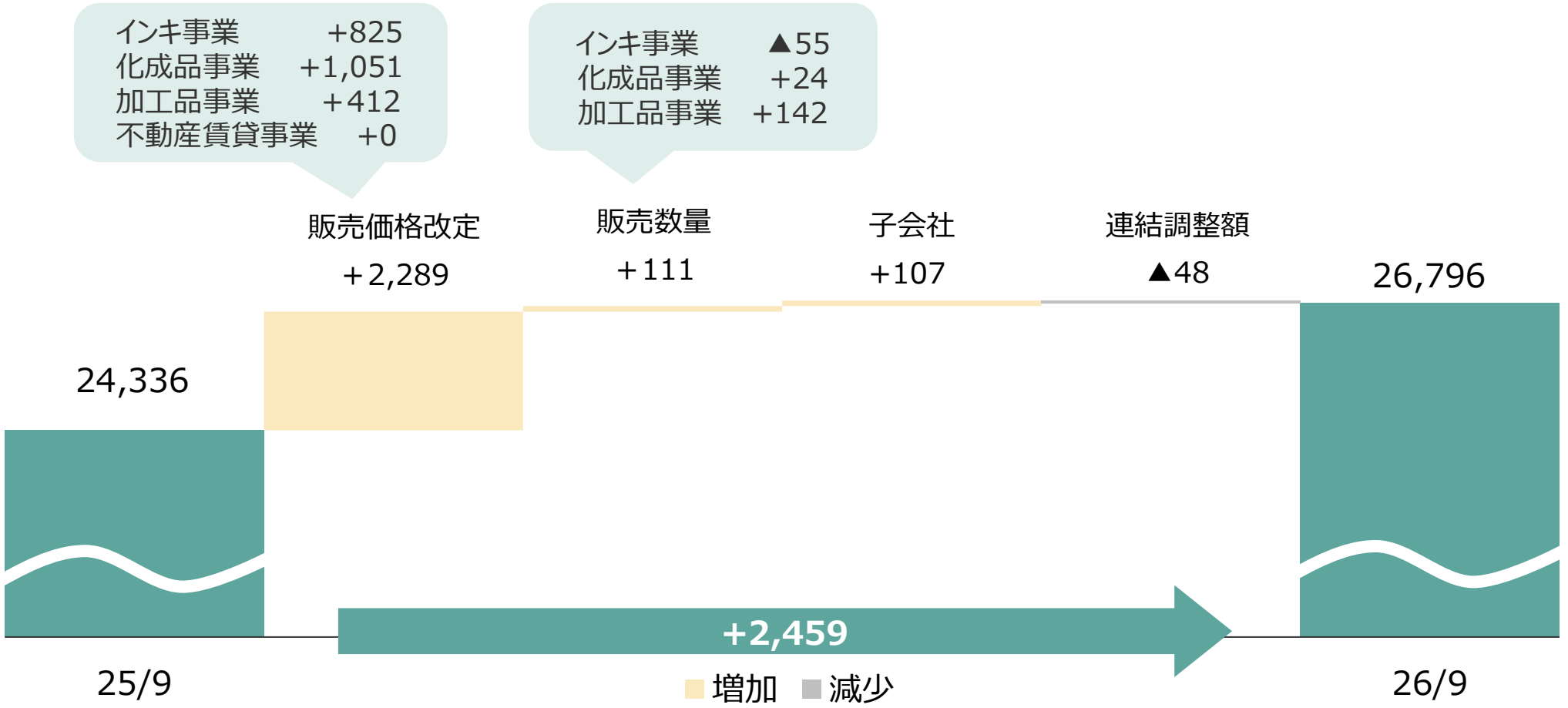


Copyright© TOKYO PRINTING INK MFG. CO., LTD.

（3）前年同期比増減要因分析　－売上高－

（単位：百万円）

各事業で原材料価格上昇に対応した適正な販売価格改定が進捗し、高付加価値製品の販売が伸長したことにより、前年同期比増収

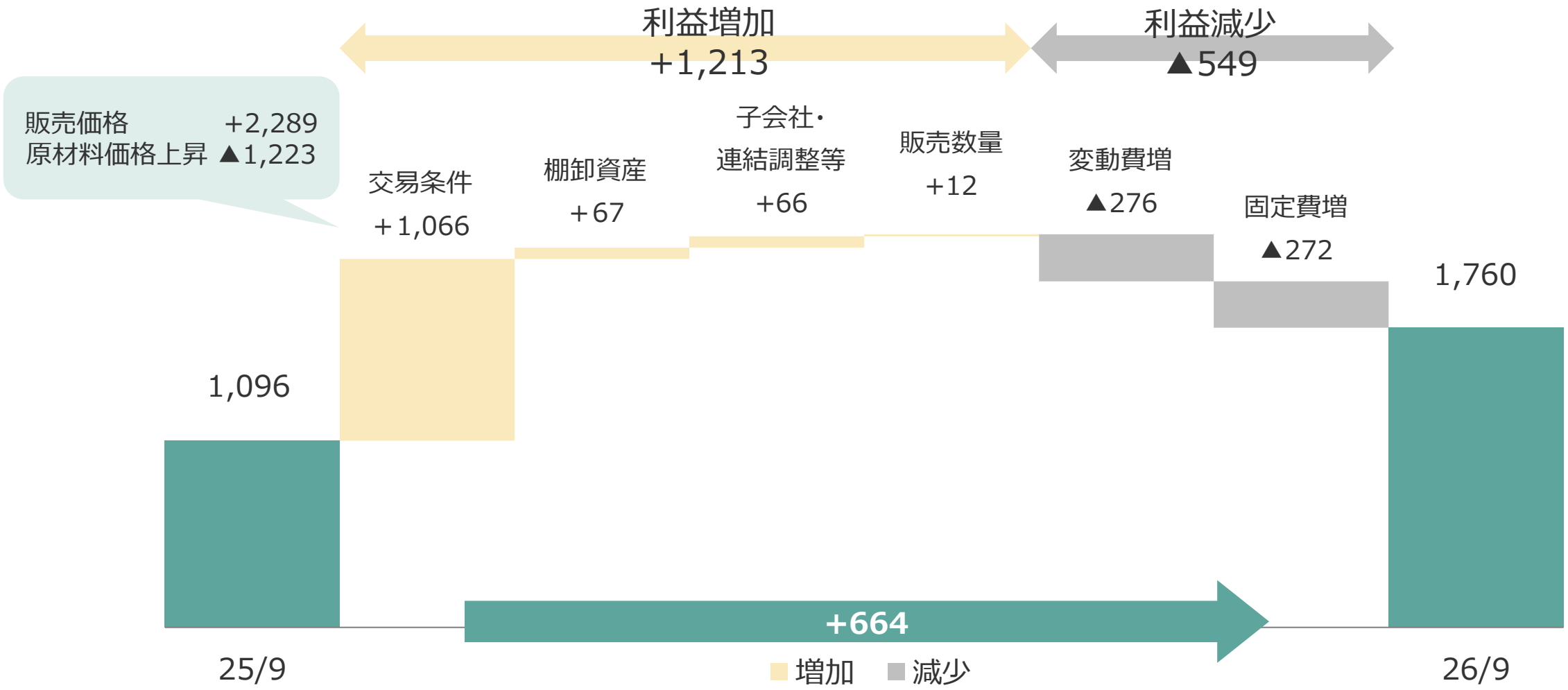


Copyright© TOKYO PRINTING INK MFG. CO., LTD.

（3）前年同期比増減要因分析　－営業利益－

（単位：百万円）

販売価格改定の進捗に加え、高付加価値製品の売上比率が増加したことによる交易条件の改善により前年同期比増益



Copyright© TOKYO PRINTING INK MFG. CO., LTD.

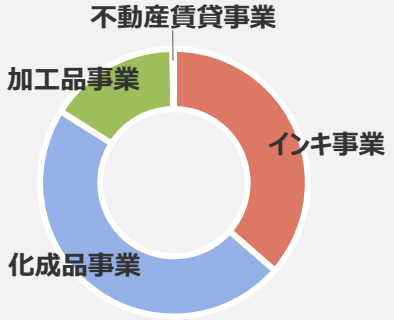
（4）セグメント別業績　－サマリー－

（単位：百万円）

報告セグメント	項目	25/9	26/9	増減額	増減率（%、pt）
インキ事業	売上高	8,927	9,758	+830	+9.3
	セグメント利益	495	533	+37	+7.6
	利益率（%、pt）	5.6	5.5	－	▲0.1
化成品事業	売上高	11,673	12,740	+1,066	+9.1
	セグメント利益	432	704	+272	+63.1
	利益率（%、pt）	3.7	5.5	－	+1.8
加工品事業	売上高	3,690	4,252	+562	+15.3
	セグメント利益	194	566	+371	+190.8
	利益率（%、pt）	5.3	13.3	－	+8.0
不動産賃貸事業	売上高	45	45	+0	+0.0
	セグメント利益	24	26	+1	+5.5
	利益率（%、pt）	54.7	57.7	－	+3.0
セグメント合計	売上高	24,336	26,796	+2,459	+10.1
	セグメント利益	1,147	1,831	+683	+59.6
	利益率（%、pt）	4.7	6.8	－	+2.1
全社費用他　※		▲ 51	▲ 70	▲19	－
連結営業利益		1,096	1,760	+664	+60.6

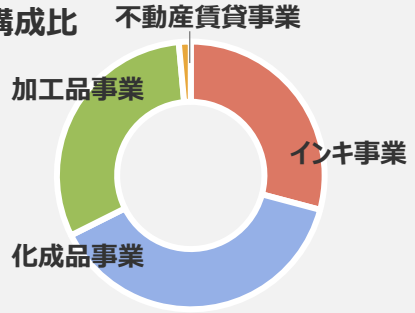
・各事業で原材料価格上昇に対応した適正な販売価格改定が進捗
・インキ事業はグラビアインキのメディカルパッケージ向け製品、化成品事業は機能性包材用途向け製品やモビリティ用途向け製品、加工品事業は土木資材等の高付加価値製品の販売伸長および一部製品の前倒し需要により、前年同期比増収増益

売上高構成比



インキ事業	36.4%
化成品事業	47.5%
加工品事業	15.9%
不動産賃貸事業	0.2%

セグメント利益構成比



インキ事業	29.1%
化成品事業	38.5%
加工品事業	31.0%
不動産賃貸事業	1.4%

Copyright© TOKYO PRINTING INK MFG. CO., LTD.

※全社費用は主に事業セグメントに属さない一般管理費

（4）セグメント別業績　－インキ事業－

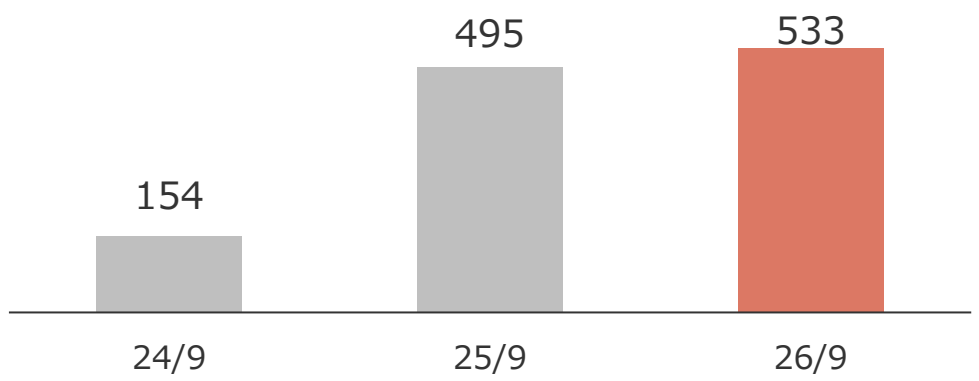
（単位：百万円）

オフセットインキは販売強化および新規顧客獲得に注力するも販売価格改定は当初の見込みより進捗遅れ、インクジェットインクは欧州向け受託製品の受注減少が継続するも、グラビアインキのメディカルパッケージ向け製品等が好調に推移したことにより増収増益

	25/9	26/9 実績	増減額	増減率（%、pt）
売上高	8,927	9,758	+830	+9.3
セグメント利益	495	533	+37	+7.6
セグメント利益率	5.6	5.5	－	▲0.1

26/9 実績		前期比
■オフセットインキ	売上高	↗
	利益	↘
■グラビアインキ	売上高	↗
	利益	↗
■インクジェットインク	売上高	↘
	利益	↘

セグメント利益

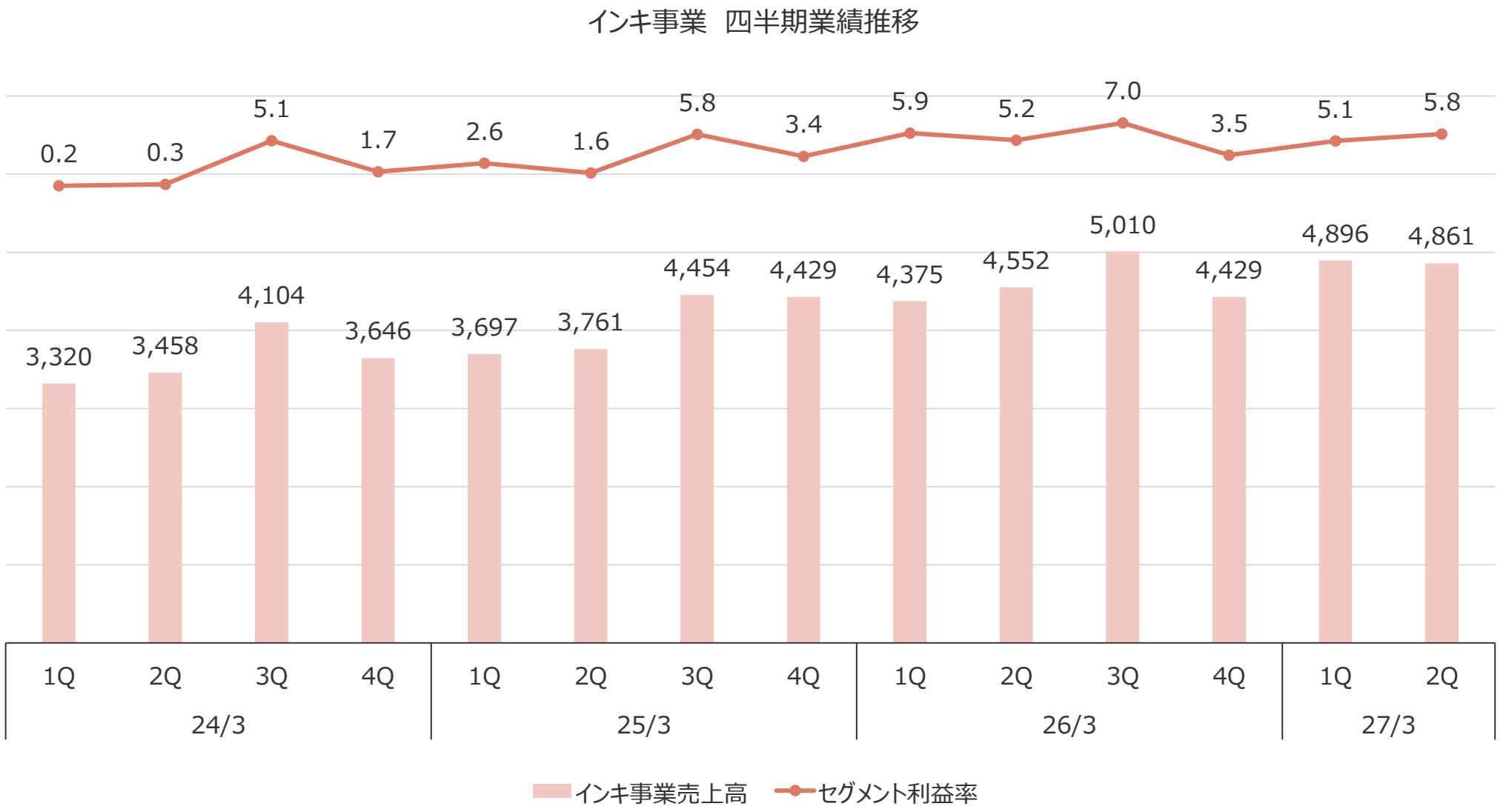


セグメント利益率（%）	25/9	26/9	増減（pt）
■オフセットインキ	5.9	3.0	▲2.9
■グラビアインキ	3.6	9.6	+6.0
■インクジェットインク	5.4	2.0	▲3.4

Copyright© TOKYO PRINTING INK MFG. CO., LTD.

（4）セグメント別業績　－インキ事業－

（単位：百万円、%）



Copyright© TOKYO PRINTING INK MFG. CO., LTD.

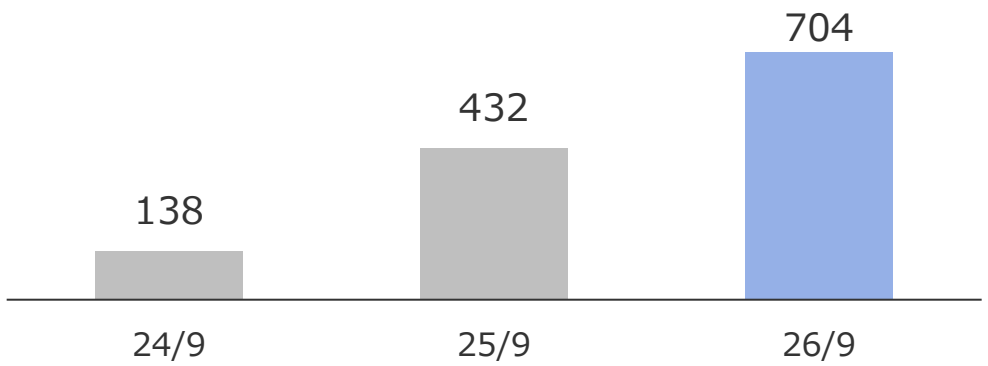
（4）セグメント別業績　－化成品事業－

（単位：百万円）

モビリティ用途向け製品や機能性包材用途向け製品が堅調に推移、海外（タイ）も当第1四半期から回復基調、自社製品が伸長したことにより利益率が改善し増収増益

	25/9	26/9 実績	増減額	増減率（%、pt）
売上高	11,673	12,740	+1,066	+9.1
セグメント利益	432	704	+272	+63.1
セグメント利益率	3.7	5.5	－	+1.8

セグメント利益



26/9 実績		前期比
■自社製品	売上高	↗
	利益	↗
■受託製品	売上高	→
	利益	↘
■海外（タイ）	売上高	↗
	利益	→

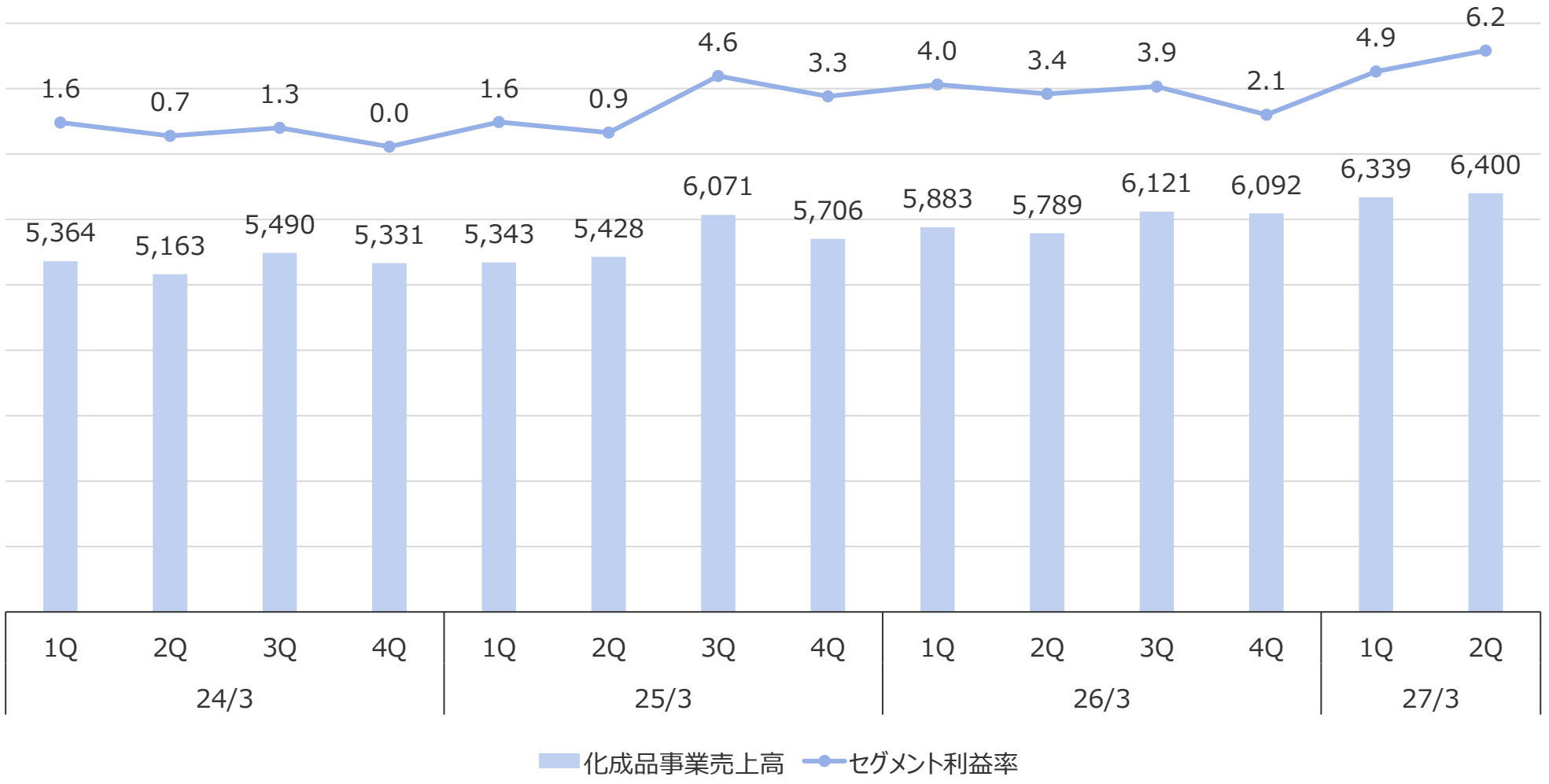
セグメント利益率（%）			
	25/9	26/9	増減（pt）
■自社製品	6.2	8.9	+2.7
■受託製品	▲2.9	▲3.9	▲1.0
■海外（タイ）	28.0	23.9	▲4.1

Copyright© TOKYO PRINTING INK MFG. CO., LTD.

（4）セグメント別業績　－化成品事業－

（単位：百万円、%）

化成品事業　四半期業績推移



Copyright© TOKYO PRINTING INK MFG. CO., LTD.

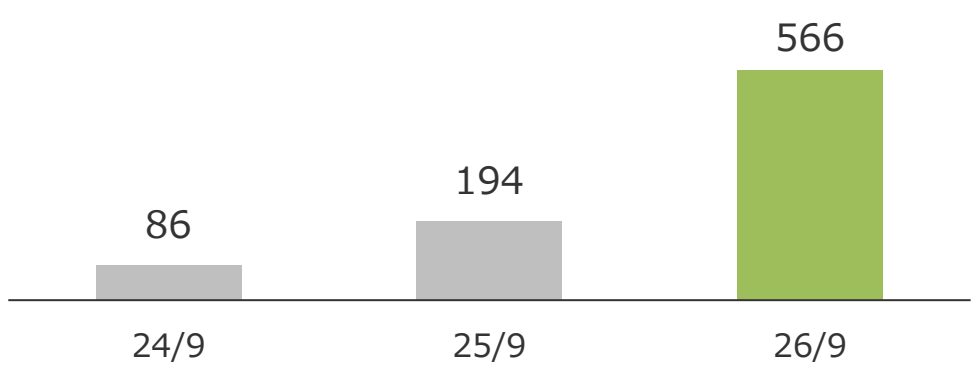
（4）セグメント別業績　－加工品事業－

（単位：百万円）

ネトロン®は前期に実施した減損処理による減価償却費負担減に加え、受注回復もあり、業績が改善、一軸延伸フィルムは堅調な食品包装用途に加え産業用途も回復基調、土木資材はジオセル各工法の需要が堅調に推移し、増収増益

	25/9	26/9 実績	増減額	増減率（%、pt）
売上高	3,690	4,252	＋562	＋15.3
セグメント利益	194	566	＋371	+190.8
セグメント利益率	5.3	13.3	－	+8.0

セグメント利益



26/9 実績		前期比
■ネトロン®	売上高	↗
	利益	↗
■一軸延伸フィルム	売上高	↗
	利益	↗
■土木資材	売上高	↗
	利益	↗
■農業資材	売上高	↗
	利益	↗

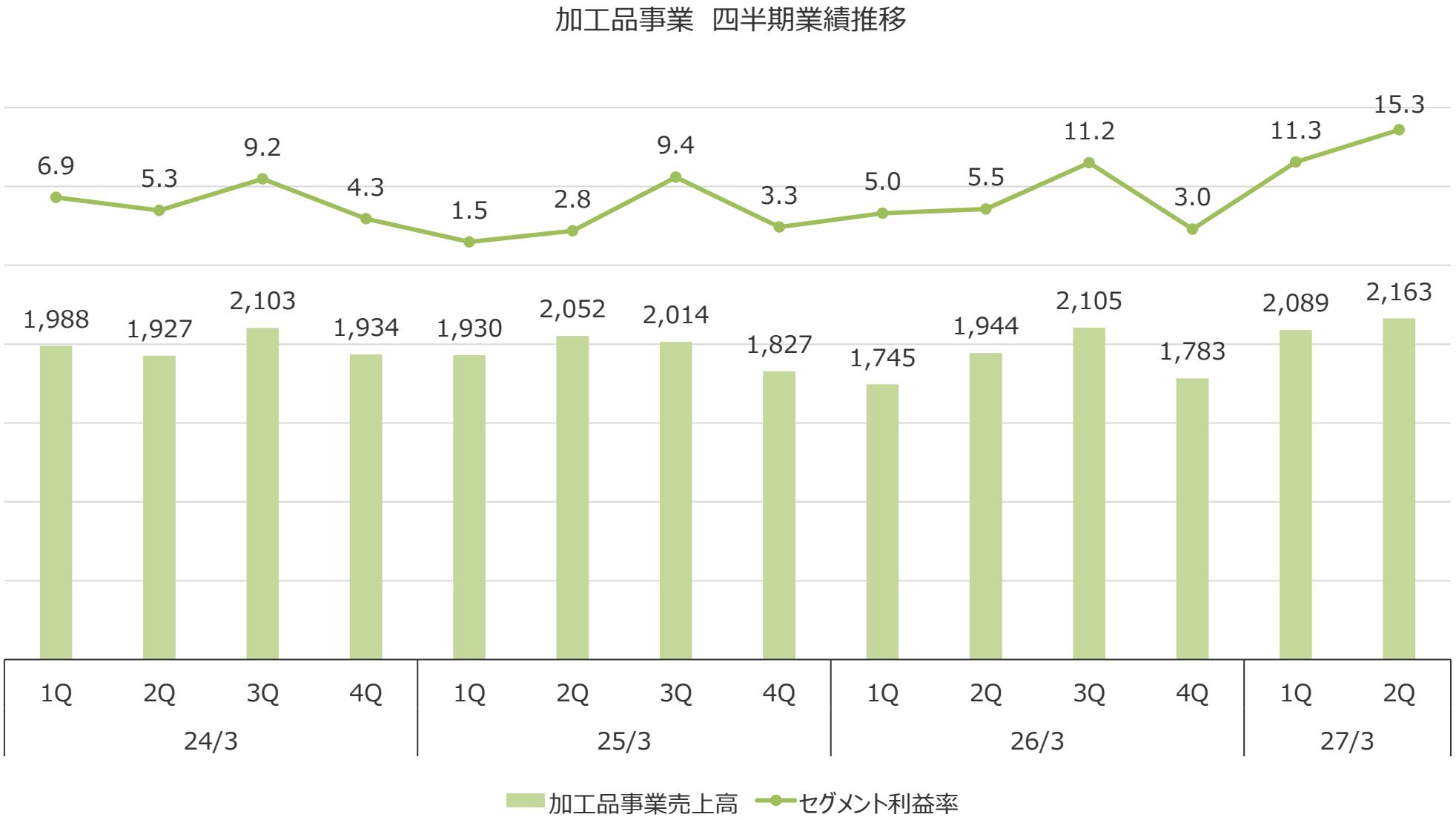
セグメント利益率（%）

	25/9	26/9	増減（pt）
■ネトロン®	▲16.1	6.9	+23.0
■一軸延伸フィルム	6.1	13.3	+7.2
■土木資材	18.2	23.2	+5.0
■農業資材	0.6	2.3	+1.7

Copyright© TOKYO PRINTING INK MFG. CO., LTD.

（4）セグメント別業績　－加工品事業－

（単位：百万円、%）

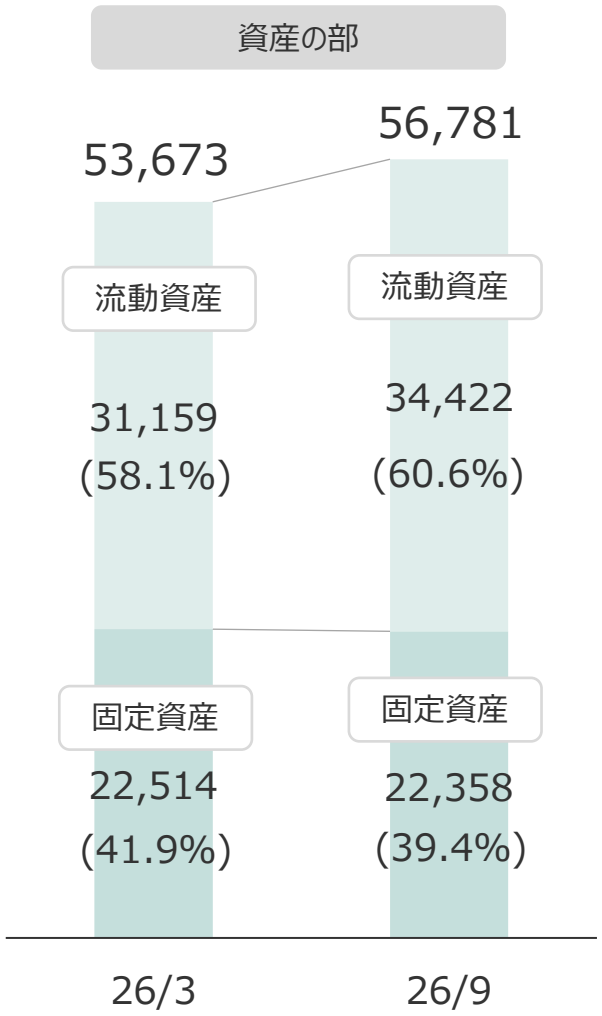


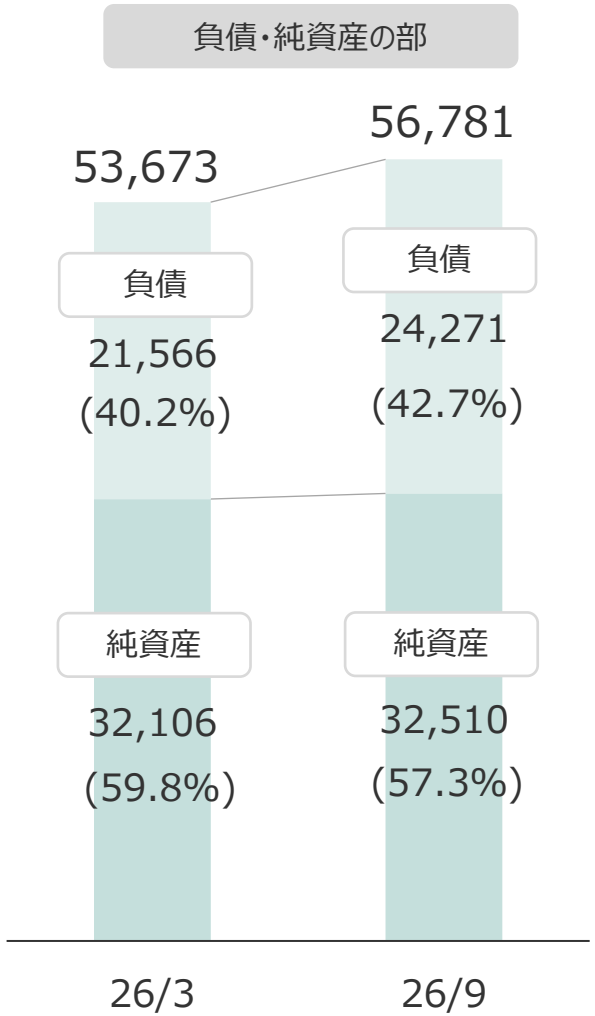
Copyright© TOKYO PRINTING INK MFG. CO., LTD.

（5）連結貸借対照表

（単位：百万円）

総資産は567億円（前期比＋31億円）
売上高の増加に伴う売上債権、棚卸資産等の営業運転資本の増加





資産　前期末比＋3,108百万円（＋5.8%）

●流動資産（+3,263百万円）
- ・現預金の増加
- ・増収による売上債権増加
- ・棚卸資産の増加

●固定資産（▲155百万円）
- ・退職給付に係る資産の減少

負債　前期末比＋2,705百万円（＋12.5%）

●流動負債（＋3,164百万円）
- ・仕入債務の増加
- ・短期借入金の増加

●固定負債（▲459百万円）
- ・長期借入金約定返済による減少

純資産　前期末比+403百万円（+1.3%）

- ・利益剰余金の増加
- ・退職給付制度変更に伴う退職給付に係る調整累計額の減少

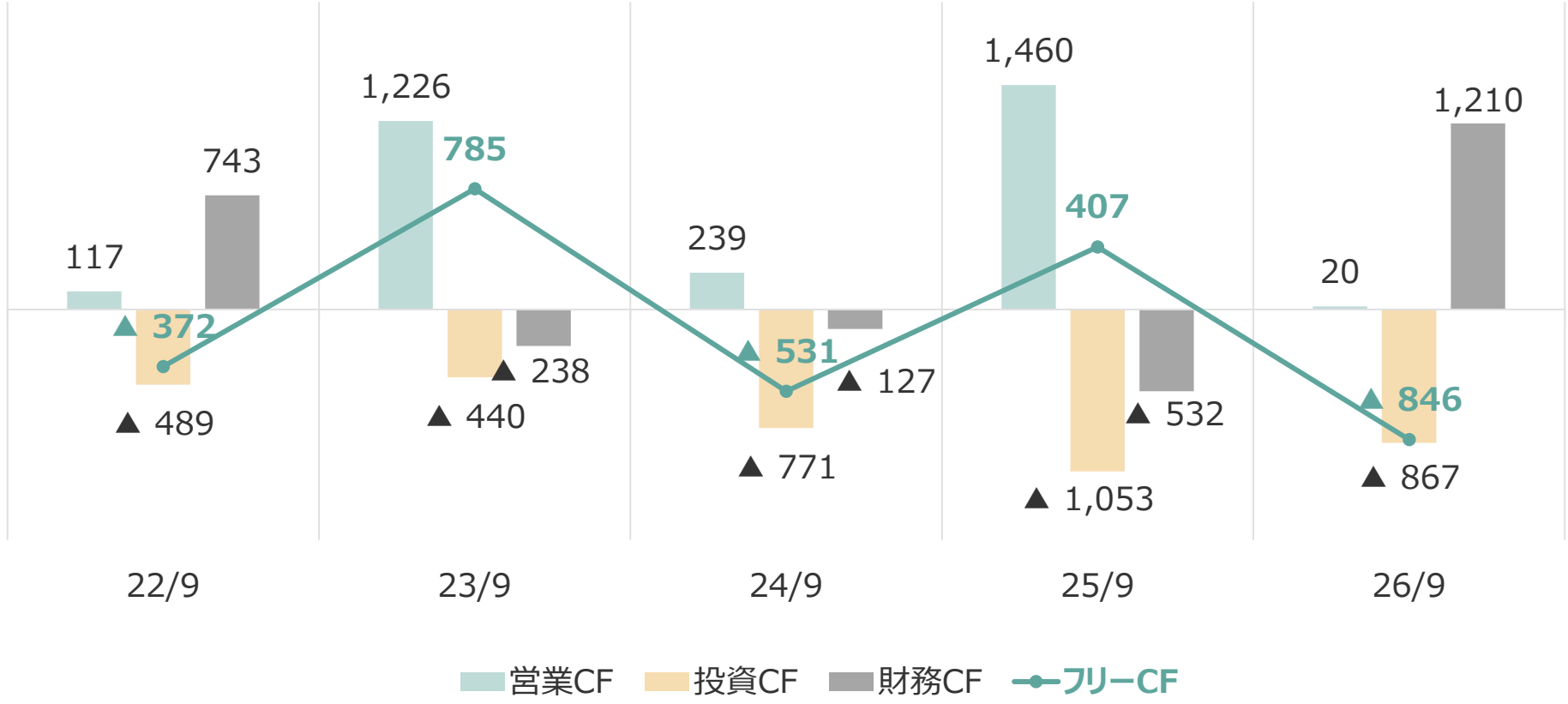
自己資本比率　26/3：59.4%　26/9：56.9%

Copyright© TOKYO PRINTING INK MFG. CO., LTD.

（6）連結キャッシュ・フロー

（単位：百万円）

27年3月期中間期のフリーCFは▲8.4億円（前年同期比▲12.5億円）
営業CF：利益増加の一方、売上債権や棚卸資産等の運転資本の増加等により、収入減少
投資CF：有形固定資産の取得による支出が前年同期を下回ったこと等により、支出減少
財務CF：最適資本構成を踏まえた負債活用の拡大により、借入金増加



Copyright© TOKYO PRINTING INK MFG. CO., LTD.

2．2027年3月期　通期連結業績予想の修正



（1）業績予想

外部環境の変化に販売価格改定等で対応するとともに、人的資本への投資や設備メンテナンスの強化、低収益受託製品の整理等の構造改革に向けた取り組みは期初計画どおり進捗

	期初時点での業績予想の前提	27年3月期第2四半期の進捗
外部要因	・中東情勢の影響未反映 ・為替（円安）影響による輸入原材料費上昇 ・物価上昇による消費マインドの低下 ・ユーティリティコスト・物流コスト上昇	・中東情勢の不安定化等を背景とした原材料価格の高止まりや、サプライヤー各社による価格改定に対し、適正な販売価格改定実施 ・物価上昇を見据えた前倒し需要発生
内部要因	・人件費増加（ベースアップ、業績連動賞与など） ・設備メンテナンス強化による費用増加 ⇒26年3月期にインキ事業で発生した設備故障を教訓とし、供給に支障を出さないようメンテナンスを強化（全事業対象）	人的資本への投資や設備メンテナンスの強化など、構造改革に向けた取り組みは期初計画どおり進捗
事業要因	・オフセットインキの市場縮小継続による需要減少 ・インクジェットインクの欧州向け受託製品の環境規制強化による需要減少 ・化成品低収益受託製品の戦略的な販売数量大幅減少 （高収益製品にシフトするために必要な整理） ・土木資材の為替（円安）影響	・オフセットインキの市場縮小継続するも、新規顧客獲得や販売強化し市場シェアアップ、販売価格改定の進捗に遅れあり ・インクジェットインクの欧州向け受託製品の環境規制強化による需要減少継続 ・化成品事業における低収益受託製品の整理は継続して進めている途上にあり、期初計画どおり下期より重点的に実施 ・土木資材の為替（円安）影響はあったものの、販売価格改定により吸収

Copyright© TOKYO PRINTING INK MFG. CO., LTD.

（1）業績予想

（単位：百万円）

上期の業績進捗と下期の事業環境や構造改革に向けた取り組みを踏まえ、通期業績予想を上方修正

27年3月期　連結業績予想	27/3 上期（H1）		27/3 下期（H2）		27/3 通期		通期業績予想 増減額 B - A
	前回 業績予想※1	実績	前回 業績予想※1	修正 業績予想※2	前回 業績予想※1 A	修正 業績予想※2 B	
売上高	26,500	26,796	27,800	27,703	54,300	54,500	+200
営業利益	1,300	1,760	1,400	1,889	2,700	3,650	+950
経常利益	1,430	1,856	1,470	1,993	2,900	3,850	+950
親会社株主に帰属する当期純利益	1,400	1,570	1,250	1,729	2,650	3,300	+650
ROE（%）	-	-	-	-	8.3	10.2	+1.9

(※１)26年8月5日公表値
(※２)26年11月6日公表値

Copyright© TOKYO PRINTING INK MFG. CO., LTD.

（1）業績予想

（単位：百万円）

インキ事業：オフセットインキの販売価格改定の進展、グラビアインキの高付加価値製品の堅調な推移等により増収増益
化成品事業：自社製品の堅調な推移を見込む一方、低収益受託製品の整理を下期から本格化することにより減収増益
加工品事業：ネトロン®の受注回復や土木資材の堅調な販売等により増収増益

27年3月期　連結業績予想 セグメント別		27/3 上期（H1）		27/3 下期（H2）		27/3 通期		通期業績予想 増減額 B－A
		前回 業績予想※1	実績	前回 業績予想※1	修正 業績予想※2	前回 業績予想※1 A	修正 業績予想※2 B	
インキ事業	売上高	9,665	9,758	10,055	10,141	19,720	19,900	＋180
	セグメント利益	330	533	370	536	700	1,070	＋370
化成品事業	売上高	12,740	12,740	13,100	13,049	25,840	25,790	▲50
	セグメント利益	670	704	730	865	1,400	1,570	＋170
加工品事業	売上高	4,050	4,252	4,600	4,467	8,650	8,720	＋70
	セグメント利益	350	566	450	533	800	1,100	＋300
不動産賃貸事業	売上高	45	45	45	44	90	90	－
	セグメント利益	25	26	25	23	50	50	－

(※１)26年8月5日公表値
(※２)26年11月6日公表値

Copyright© TOKYO PRINTING INK MFG. CO., LTD.

（2）今後の見通し

（単位：百万円）

27年3月期　下期の見通し		
インキ事業	オフセットインキ	売上は引き続き好調に推移する見込みであり、遅れていた製品販売価格改定の進展により業績改善を見込む
	グラビアインキ	機能性インキ・コート剤とメディカルパッケージ向け製品を中心とした堅調な業績の維持
	インクジェットインク	自社製品のラインアップ拡充に注力するも、業績は弱含みの見通し
化成品事業	自社製品	モビリティ用途向け製品および機能性包材用途向け製品を中心に堅調な業績の維持
	受託製品	下期に向けて低収益製品の整理の本格化による一時的な業績の落ち込み
	海外（タイ）	モビリティ用途向け製品の堅調維持と回復基調である機能性包材用途向け製品の需要増による業績の回復
加工品事業	ネトロン®	水処理資材の受注回復と新規用途探索などの拡販活動に加え、前年に実施した減損処理による 減価償却費の減少により業績改善
	一軸延伸フィルム	食品包装用途フィルムと産業用途フィルムを中心に堅調な業績の維持
	土木資材	国が推進する国土強靭化計画に貢献できる防災・減災用途向け製品であるジオセル工法を中心に堅調な業績の維持
	農業資材	機能性農業資材エナジーシリーズを中心に堅調な業績の維持
全体		原材料価格上昇分の製品原価への反映が下期にかけて一定程度進むことが見込まれるものの、 製品構成の改善や第3四半期の需要期に伴う販売増加などにより、下期の利益額は上期を上回る見通し

Copyright© TOKYO PRINTING INK MFG. CO., LTD.

3．2027年3月期 株主還元



株主還元・配当

（単位：円、%）

業績予想の上方修正を踏まえ、前回予想比＋20円(※1)、前期比＋52円(※2)の増配を予定
総還元性向は約80%を見込む

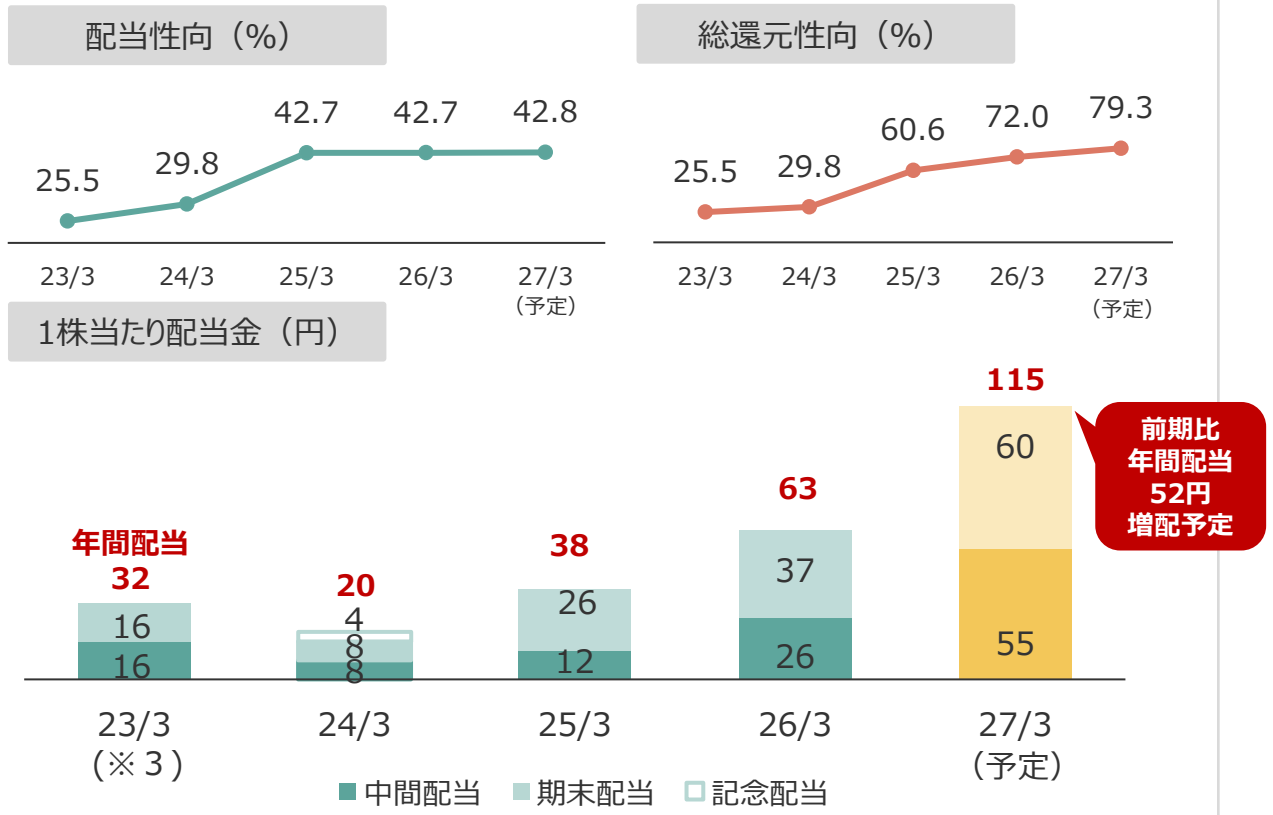
配当方針

■基本方針：安定的かつ継続的な配当実施

■**配当性向40%以上**またはDOE1.0%以上

1株当たり配当金	中間配当	期末配当	年間配当
26年3月期 普通配当	26円	37円	63円
27年3月期 普通配当（予定）	55円	60円	115円
26年3月期比			+52円

配当金・配当性向　推移



(※1)26年8月5日公表値
(※2)株式分割後換算の金額にて算出
(※3)26年1月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施、26年3月期以前の配当金は遡及して修正

Copyright© TOKYO PRINTING INK MFG. CO., LTD.

４．参考資料



用語の整理

事業	製品名称	説明文
インキ	オフセットインキ（平版インキ）	オフセット印刷用インキ。印刷方式として、輪転、枚葉、新聞輪転等があり、インキタイプとして、油性、水性、UV硬化型、水無し等がある。
	グラビアインキ（凹版インキ）	凹版印刷の一種であるグラビア印刷用インキ。印刷方式として、表刷り、裏刷り等があり、インキタイプとして、溶剤、ノントルエン、水性等がある。 また、印刷物に色ではなく機能（酸化防止等）を付与するコート剤（ニス）もある。
	インクジェットインク（デジタルインキ）	版を持たないデジタル印刷の一種であるインクジェット印刷用インク。主に家庭向け、産業向け等がある。インクタイプは染料、顔料等がある。 当社はカスタムメードインクジェットTIC-JET®を展開。
化成品	マスターバッチ	顔料等を分散させた高濃度のプラスチックペレット。使用時はナチュラル（原料）樹脂に対し、3～10%程度希釈するのが一般的。 着色剤のほかに機能（酸化防止等）を付与する添加剤等がある。
加工品	ネトロン®	高密度ポリエチレンを網状に成形したプラスチック製品。三井化学株式会社の登録商標。工業用途と包装用途で展開している。 水処理用資材は工業用途の主要製品。
	一軸延伸フィルム	高密度ポリエチレンを主とした縦一軸延伸フィルムで、高い形状保持性、縦方向の強度及び直進カット性に優れ、さらに高い透明性と光沢性も兼ね備えたフィルム。食品包装、産業用途等に使用される。
	ジオセル工法	土木資材の主要工法。主にジオセルと周辺部材を組み合わせたジオセル工法を提供。コンクリート工法と比べ、軽量であるため輸送効率が良く、施工が簡単であるため熟練工を必要としない。一部の工法は国土交通省のNETIS（新技術情報提供システム）に登録済。
	ジオセル	高密度ポリエチレンを立体形成した、ハニカム状土壌安定枠の総称。当社製品名はテラセル®、グランドセル®がある。
	周辺部材	ジオセル工法の強度を向上させるための接続部材や摩擦を補助する用心杭等。
	エナジーシリーズ	農業資材の主要製品。優れた保温保冷効果を有する多層断熱被覆資材（布団資材）『エナジーキーパー®』、優れた保温性、軽量でしなやか、適度な湿度コントロールができる内張カーテンである『エナジークロス®』等をラインナップ。

Copyright© TOKYO PRINTING INK MFG. CO., LTD.

●本資料は、投資家の皆様に会社内容の理解を深めて頂くための資料であり、投資勧誘を目的としたものではございません。
●記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではございません。
また、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。
投資に関する決定は、ご自身のご判断と責任において行われるようお願いいたします。

【お問合せ先】 東京インキホームページお問い合わせフォーム
https://www.tokyoink.co.jp/contact/

東京インキ株式会社　管理部門　IRチーム
TEL　：03-5902-7652
E-mail：tic-ir@tokyoink.co.jp

TOKYO ink
東京インキ株式会社